

# KFP通信

平成 19 年 12 月 第 12 号

## 鵠沼小学校保護者及び近隣町内会の皆様へ

鵠沼小学校PTA自主活動  
鵠沼おやじパトロール隊

12月に入り、夕方暗くなる時間が早くなりました、子供たちは暗くなる前に家に帰りましょう。また、暗くなつてからの無灯火の自転車もたいへん危険です、電気をつけて自転車に乗りましょう。

さて、今回の KFP 通信は子供に対する声掛け事案についてです。

防犯対策はしているのに、子供に対する犯罪が減らない理由として、不審者は最初から子供に危害を与えるような言動をとらないからです、最初は子供に信頼を与えたり、子供の純粋な気持ちに巧妙に近寄ってきます。

そこで、声掛け事案のタイプですが、大きく分けて8つあります。

- |         |                          |
|---------|--------------------------|
| * 甘言型   | お菓子(おもちゃ)を買ってあげるからついてきな。 |
| * 無言型   | 無言で腕をつかんで連れ去る。(車に乗せられる)  |
| * 質問型   | 何年生? どこに住んでるの?           |
| * 因縁付型  | 俺の車に傷つけたな。               |
| * 道訊き型  | 駅がどこだかわからないのでついてきて教えて。   |
| * 誘い込み型 | ちょっときて。車で家までおくってあげる。     |
| * わいせつ型 | 子供の体をさわる、卑猥な言葉をかける       |
| * 虚言事実型 | お母さんが怪我をしたからついてきて。       |

子供に対する声掛け事案は、下校時間から夕方の時間帯が最も多く、場所は道路→共同住宅→公園の順で、ほとんどが一人でいるときのようです。

不審者は言葉巧みに子供に近づいてきます! 家庭内でも子供に対する声掛け事案についての対策などを話し合ってみましょう。

子供の防犯対策として必要なことは、不審者がニコニコしながら話しかけてきた場合でも、きっぱりと断れるように日頃から子供に対して言い聞かせておくことが重要でしょう。

しかし、もし悪意のない人が道を尋ねてきたら…

果たして、子供に大人の善悪を見分けることが出来るでしょうか。

子供の防犯対策は、万が一を考えた行動が大切です。

- \* 防犯ブザー、携帯電話などは常にすぐに出せるところにつけておく(ランドセルの中ではいざという時に役に立たない!)。使い方も練習する。電池切れになつてないか常にチェックする。
- \* 大きな声で助けを呼ぶ練習をする(布団をかぶって、おなかの底から声を出す)。「助けて」「警察を呼んで」など、何を言うのかも教える。
- \* 「子供 110 番の家」のマークを教える。近くにないときはコンビニ、商店でもいいので飛び込むように教える。

子供は被害に遭ったり、遭いそうになった時に「怒られるのではないか」と恐れ、親に話さないことが多いのです。「言つたらよくないのでは」「言うと叱られるかも」など自分が責められることには敏感です。また、「おうちの人に言つてはいけない」と脅迫まがいにきつく言われている場合もあります。被害にショックを受けて、声に出せないこともあるでしょう。

子供とのコミュニケーションを充分取ると同時に、子供の様子が普段と違う場合には優しく声をかけてあげることが大切です。

KFP鵠沼おやじパトロール隊では随時隊員を募集しています。鵠沼小学校保護者(お父さん)で参加協力してくれる方はご連絡ください。

KFP鵠沼おやじパトロール隊 隊長